



障がいのある人がいることで、 周囲も自然に配慮できるように

当社では障がいのある人の採用にあたって手話通訳者も採用し、会議や学習会の際にその人を介して円滑な意志の疎通を図っています。最初は情報が伝わりきらずに様々な失敗もありましたが、聞こえないことで何が不便なのか、どういう手助けが必要なのか、本人が周囲に積極的に伝えるようになり、周りも自然に聞こえない人への理解と配慮ができるようになりました。

カタチにこだわらず コミュニケーションをとる重要性

社員は、聴覚に障がいのある人とカタチにこだわらずコミュニケーションを取ることの重要性を強く認識しています。当社は長年にわたって障がいのある人を雇用し、共に働いてきました。それだけに、社員には障がいのある人が近くにいたら、手助けするのは人として当たり前のことという意識が醸成され、障がいのある人、ない人の垣根を感じさせない職場づくりにつながりました。